

2022年2月15日実施
 日本大学芸術学部 一般選抜入試A方式 第1期第2週目
 学力試験 英語 解答例
 (配点は当校の推定によるものです)

<英語>

【Ⅰ】 配点：24点；各3点

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| (1) <u> </u> | (2) <u> </u> | (3) <u> </u> | (4) <u> </u> |
| D | A | A | A |
| (5) <u> </u> | (6) <u> </u> | (7) <u> </u> | (8) <u> </u> |
| B | C | A | D |

【Ⅱ】 配点：16点；各2点

- | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| (9) <u> </u> | (10) <u> </u> | (11) <u> </u> | (12) <u> </u> |
| A | B | B | B |
| (13) <u> </u> | (14) <u> </u> | (15) <u> </u> | (16) <u> </u> |
| D | C | D | A |

【Ⅲ】 配点：24点；各4点

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| (17) <u> </u> | (18) <u> </u> | (19) <u> </u> |
| A | B | B |
| (20) <u> </u> | (21) <u> </u> | (22) <u> </u> |
| A | C | B |

【Ⅳ】 配点：18点；各3点

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| (23) <u> </u> | (24) <u> </u> | (25) <u> </u> |
| C | B | A |
| (26) <u> </u> | (27) <u> </u> | (28) <u> </u> |
| A | B | A |

【Ⅴ】 配点：18点；各3点

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| (29) <u> </u> | (30) <u> </u> | (31) <u> </u> |
| C | B | C |
| (32) <u> </u> | (33) <u> </u> | (34) <u> </u> |
| D | D | A |

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。若干細かな知識を問う設問もあり、全体としては「やや難化」

〔Ⅰ〕正誤問題は、苦手意識の強い受験生が多いが、問題としては標準レベル。品詞とその役割には習熟しておく必要がある。

〔Ⅱ〕文法4択問題は、語彙力を問う問題が多く出題された。難問とまではいかないが、各自が使用する文法の問題集では接していないであろう用法もあり、苦戦を強いられた受験生もいたはず。

〔Ⅲ〕長文内容一致問題は、問題文は例年通りのレベル。設問の順序と本文の内容の展開も完全に一致し、本文の複数箇所を参照する必要もなかったため、その分解きやすかったと思われる。消去法で選択肢の数を減らすのが正解への近道。

〔Ⅳ〕会話文は、〔Ⅲ〕長文内容一致問題と内容が連動したパターン。〔Ⅲ〕に比べると読みやすいので、先にこちらの問題を解くと長文を読む手がかりにできる。選択肢の品詞は統一されていたが、(28)は従来に比べると細か知識を要する。

〔Ⅴ〕空所補充問題は、例年通りの難易度の問題文。選択肢の品詞が統一され、動詞の場合は形も共通していたので、純粋に語彙力が問われる問題。標準的な単語帳レベルではあるが、例年と比べると「やや難」。

2022年2月15日実施
 日本大学芸術学部 一般選抜入試A方式 第1期第2週目
 学力試験 国語 解答例
 (配点は当校の推定によるものです)

【訂正】国語は【Ⅱ】問四、【Ⅲ】問四にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記

<国語>

【Ⅰ】 配点：30点；問一 各3点、問二 4点、問三～六 各5点

一 I	3	一 II	4	二	3	三	1
四	4	五	2	六	2		

【Ⅱ】 配点：28点；各4点

一	1	二	1	三	2	四	2
五	1	六	4	七	3		

【Ⅲ】 配点：30点；問一 各2点、問二 各1点、問三～七 各4点

一 a	4	一 b	3	一 c	1	一 d	3
二 A	4	二 B	3	三	1	四	3
五	1	六	3	七	4		

【Ⅳ】 配点：5点；各1点

一 I	1	一 II	8	一 III	2	一 IV	5	二	6
-----	---	------	---	-------	---	------	---	---	---

【Ⅴ】 配点：7点；各1点

一 a	8	一 b	10	一 c	11	一 d	5
二 a	3	二 b	1	二 c	4		

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。全体としては昨年並みの難易度と思われる。ただ大問【Ⅱ】は問題文・選択肢ともに分量が増え「やや難化」。

【Ⅰ】現代文：例年通りの出題傾向。選択肢にもそれほどややこしいものはなく、標準的な問題。
 【Ⅱ】現代文：問題文・選択肢ともに分量が増え、「やや難化」。問二、問四について受験生は判断に迷ったかもしれない。
 【Ⅲ】古文：今回の出典である「松浦宮物語」は鎌倉初期の物語。単語と文法で解ける問題が多い印象。ただ問四は少しひねった形で選択肢が作られている。選択肢3、4は唐の事情を知らないので「気の毒」「同情し」はあり得ないので×。選択肢2は「青い海の景色に感動」が×。選択肢1は少将サイドだけに焦点を当てており、これが正答。
 【Ⅳ】文学史：近年の問題数と変わりなく、難易度も「標準的」。
 【Ⅴ】国語表現も例年通りの難易度。従来出題のあった漢字の単独出題はなかったが、四字熟語の出題が大問二問一を含め計4題もあった。